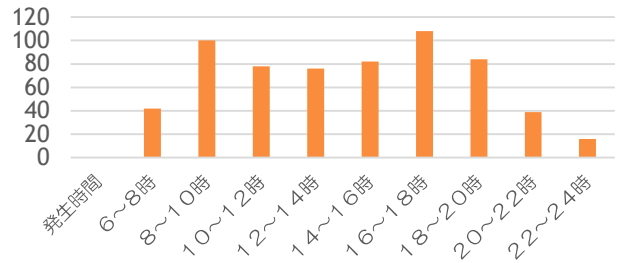


彦根市の交通安全対策

道路にあふれたクルマは交通事故の発生リスクを高めます。
彦根市内で発生した交通事故を時間帯別分析すると、通勤・通学時間帯に事故が集中して発生していることが分かります。(右グラフ)
彦根市では、市内を走るクルマの交通量を削減することで、交通安全対策を推進します。

平成26年 発生時間帯別
彦根市内の交通事故



クルマに依存しない人材を育てる

過度なマイカー利用を見直し、社会的・個人的に最適なモビリティ(移動手段)を選択できる人材を育てます。
彦根市では、小学生と中学生を対象に、モビリティ・マネジメント授業を実施しています。



城東小学校で「バスの乗り方」授業を実施

また、彦根警察署とともに老人クラブなどに伺い、交通事故の話をするとともに、免許返納支援制度の紹介をしています。

クルマに頼らずに生活できる環境を整える

公共交通(路線バスなど)をより便利にし、マイカー利用からのシフトを促します。
市内を走るクルマの総量を減少させ、事故リスクを少なくします。

ひこにゃんのラッピングバス運行中!



クルマから身を守るために

市内小学校の通学路を対象に危険箇所を点検し、改善を図ります。



また、園児、小学校児童を対象に交通安全教室を実施しています。



クルマのドライバーに啓発

のぼり旗や啓発品を用いて、地域の方と安全運転を呼びかけます。



春の全国交通安全運動期間中の街頭啓発の様子